



底力を支えるもの

運動会、開校 25 周年記念式典と、大きな行事が続いた 2 学期も残すところあとひと月となりました。子どもたちは今、締めくくりとなる学芸会に向けて練習に励んでいます。

11 月 6 日、この大きな行事の合間に、日米のファーストレディをお迎えするという大役が急きょ本校に飛び込んできました。当日は「With You Smile」の合唱でお迎えし、習字を体験していただき、金管バンドの演奏と共にお見送りと、30 分ほどのひとときでしたが、子どもたちは心のこもった精一杯の歓迎をすることができました。

お二人の来校、そして、どのようにしてお迎えをするのかを子どもたちに伝えたのは当日の朝。直前のわずかな練習で臨んだ本番でしたが、体育館一杯に響き渡る合唱、メラニア夫人の様子を見て筆の扱い方を教える 4 年生、1 曲のみの予定がその場で 3 曲演奏することになった 6 年生…と、状況に臨機応変に対応し、もっている力をしっかりと出し切る子どもたちの姿に「底力」を感じました。



副校長 平山 尚彦

日々子どもたちの様子から「これだけできるなら普段から…」との思いを少々抱いたりしますが、底力は偶然生まれるものではなく、それまでの経験や努力により蓄えられてきたものです。本校の子どもたちのもつ底力は、本人たちの努力や学びで獲得したものはもちろんですが、家庭、地域、学校と、子どもを取り巻く大人の言葉かけや立ち振る舞いが、知らず知らずに隠れた力となって本人の中に蓄積されたものではないかと思います。その場では響かず、流されてしまうことも少なくありませんが、子どもたちに粘り強く伝え続けることの大切さを改めて感じています。

いよいよ来週は学芸会です。本番で底力が発揮できるよう、練習、そして日々の生活や学習に子どもたちとともにしっかりと取り組んでまいります。ご家庭での本番に向けた練習への励ましと、当日の演技への温かい拍手とお声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

11 月 6 日(月)メラニア・トランプアメリカ大統領夫人・安倍昭恵 内閣総理大臣夫人がご来校されました。全校との交流会の後、習字を体験されました。

習字は一旦お持ち帰りの後、サイン入りで学校に届きました。



12 月 の 行 事 予 定

4 日 (月) 委員会
6 日 (水) 安全指導 もちつき大会 音楽集会
4 時間授業
7 日 (木) 学芸会リハーサル
係児童以外 5 時間授業
8 日 (金) 学芸会 (児童鑑賞日)
1 ~ 5 年生 5 時間授業
10 日 (日) 学芸会 (保護者鑑賞日) 4 時間授業
11 日 (月) 振替休業日
12 日 (火) 5 年生社会科見学
13 日 (水) 避難訓練
14 日 (木) ゲーム集会 6 年生社会科見学
15 日 (金) 5 年生夢の教室(サッカー出前授業)
特別支援教室 2 学期指導終

18 日 (月) クラブ 持久走週間始
6 年生国会議事堂見学
4 年生ブラインドサッカー教室
19 日 (火) 縦割り班遊び
20 日 (水) よい歯の表彰・集会
22 日 (金) 給食終 持久走週間終
25 日 (月) 終業式
26 日 (火) 冬季休業日始

<平成 30 年>

1 月 9 日 (火) 始業式 宇佐美出身校学習
1 月 10 日 (水) 給食始 席書会(1 ~ 4 年生)
1 月 11 日 (木) 席書会(5・6 年生)
1 月 12 日 (金) 委員会 身体測定(1・2 年生)



学芸会がんばるぞ(2年生)



ぼくは、言葉をまちがえないようにがんばりたいです。そして、ちゃんとげきにしゅう中して、タイミングをまちがえないでぶ台に出たいです。歌やセリフを大きな声でがんばって、うまくせいこうするようにいのっています。 ○○ ○○

ぼくは、兄やくをやります。兄のうごき方は、一つだけ自分で考えました。それは、りょう理をする時にほうちょうで「トントン」とたたくことです。セリフも、大きくて、きれいな声で言えるように、がんばります。 ○ ○○

わたしが、「西ゆう記」でがんばりたいことは、おとうとのやくです。ごちそうをはこぶ時に、おもたそうにはこぶところがむずかしいので、そこをがんばります。ほかに、金かくとぎんかくに、おこっているところがはっきりとつたわるように、えんぎしたいです。 ○○ ○○○

わたしは、セリフをまちがえないようにがんばりたいです。あと、声を大きく出せるように、気をつけます。たくさんの人に見てもらって、きんちょうしないようにがんばります。わたしたちの「西ゆう記」いがいの、ほかの学年のげきも、たのしみです。 ○○ ○○

わたしは、「西ゆう記」で三ぞうほうしをやります。三ぞうほうしはとてもやさしい心をもっています。それと同じように、みんなにちゃんとつたわるように、やさしくセリフを言えるよう、がんばります。 ○○ ○○

わたしがみなさんに見てもらいたいところは、ご空がたたかうところです。わたしががんばることは、上手なえんぎができるように、しっかりとれんしゅうすることです。学びい会がとてものしみです。大きな声を出してがんばりたいです。 ○○ ○

わたしは、ご空とさごじょうが、ひょうたんにすいこまれてしまう場めんで「ちょ八かい」をえんじます。ちょ八かいは、おっちょこちょいなキャラクターなので、そのおもしろいキャラをえんじられるようにがんばりたいです。 ○○ ○○

「西ゆう記」では、アクションシーンがあります。わたしは、りょうり人のやくをえんじます。本ばんにむけて、大きなこえを出すれんしゅうをしています。本ばんでも、大きな声を出しながらがんばりたいです。 ○○ ○○

ぼくが「西ゆう記」でえんじるやくは、三ぞうほうしです。本番では、三ぞうほうしの言葉をわすれないように気をつけたいです。みんなで力を合わせてがんばりたいです。アクションシーンがおすすめです。 ○○ ○○○

ぼくは、「西ゆう記」でそんご空になりきります。アクションシーンもえんじます。アクションシーンで、金かくとぎんかくをたおして、金かくとぎんかくをにがす場めんをがんばりたいです。ぜひ、見てください。 ○○ ○○

認め合い、高め合う学芸会

学芸会担当 越川 敦

3年に一度の学芸会を12月8日、10日に開催いたします。練習が本格化し、子どもたちがより一層気持ちを込めて取り組んでいる姿が見られます。子どもたちは、自分のめあてをもち、「できたこと」「うまくいかなかったこと」「喜び」や「不安」などを考えながら、日々成長を続けています。同時に、学年で気持ちを合わせて演技する経験が、集団としての意識を高め、仲間との絆を強くします。「一緒に練習をし、高め合う仲間」、「上手にできたことを認め、喜んでくれる仲間」、「よりよくなるようにとアドバイスをしてくれる仲間」、そんな素敵な仲間と支え合い、集団としての力を高めながら、観ている人の心に響く演技を目指しています。

2学期は、運動会、開校25周年記念式典、そして学芸会と多くの行事が続きました。それぞれの行事でめあては異なり、子どもたちに付けたい力や願いは違いますが、どの行事でも大切にしていることは、その行事に至るまでの「過程」です。この学芸会への取り組みを通して、努力してできるようになったという喜びや、仲間と共に一つのものをつくり上げたという喜びを味わい、大きな達成感が得られるように指導してまいります。